

# エネルギー **一村一炭素おとし** 事業

2011 北海道エネルギーフロンティア事業



## ○事業計画の概要

**1. 事業計画数 9 件 (9市町、29団体)**

### 2. 環境

CO<sub>2</sub>削減見込み量

▲2,142t-CO<sub>2</sub>/年

// 削減率 ▲89%

### 3. コスト

コスト削減見込み額

▲47,702千円/年

// 削減率 ▲58%

※減価償却費分及び事業外で生じるコスト改善効果は含まない。

### 4. 地域経済

地域経済の活性化 延べ31件  
 観光振興・交流推進 7件  
 環境エネルギー産業の育成 5件  
 ものづくり・食産業の振興 4件  
 その他(商店街の活性化等) 15件

## 5. 事業の内容と効果

### ①たきかわ“天ぷら油の力”発掘&活用推進プロジェクト

(廃食用油のエマルジョン化&燃料利用による省エネ・新エネハイブリッド事業を地域飲食店が揚げ物グルメでおいしくサポート!)  
**[滝川市&滝川市飲食店組合]**

廃食用油専用ボイラーと燃焼ロスの抑制効果が得られるエマルジョン燃料製造機を公共施設に導入し、新エネと省エネの両面からCO<sub>2</sub>の排出削減を実現する。廃食用油は従前からの住民や学校給食調理からの回収ルートに加え、飲食店との連携の中で、地域の集客力向上に資する名物揚げ物グルメの発掘を進めながら利用拡大につなげる。

[概算事業費 9,900千円、交付金要望額 9,900千円]

- ★低炭素化: ▲100t-CO<sub>2</sub>/年 (▲92%)
- ★コスト: ▲2,952千円/年 (▲92%)
- ★地域経済: 商店街の活性化、観光振興・交流推進、ものづくり・食産業の振興等
- ★連携・協働: 市・飲食店組合

### ②洞爺湖町洞爺湖温泉街低炭素地域づくり推進事業

(寒冷地仕様の空気ヒートポンプ式ボイラーによる暖房・給湯供給とサミット開催地からの環境配慮型温泉街の発信事業)  
**[とうや湖温泉旅館組合&洞爺湖町&洞爺湖温泉利用協同組合]**

洞爺湖温泉街の旅館・ホテル等の温熱源(暖房・給湯)の燃料である重油、灯油等の化石燃料を利用したボイラーの代替に、環境に優しく安全(CO<sub>2</sub>冷媒)でかつ、北海道の寒冷地においても(-25℃でも90℃の給湯が可能である)新開発された高効率大気(空気)熱源ヒートポンプの導入し、低炭素地域づくりによる先進的環境対策を講じ、普及PRを図る。

[概算事業費 57,770千円、交付金要望額 10,000千円]

- ★低炭素化: ▲153t-CO<sub>2</sub>/年、(▲62%)
- ★コスト: ▲4,166千円/年、(▲61%)
- ★地域経済: 環境エネルギー産業の育成、観光振興・交流の推進
- ★連携・協働: 旅館組合・町・温泉利用協同組合

### ③南富良野町木質バイオマス&雪氷エネルギーカップリング事業

(雪氷利用による高燃焼効率ピンチップの製造とハウス栽培への熱源利用及び国内クレジット活用による観光PRと震災復興支援)  
**[南富良野町森林組合&南富良野町&NPO利雪技術協会&北電総合設計㈱]**

雪氷エネルギーを利用した乾燥システムを燃料ピンチップの製造工程に導入し、より高品位・低含水率である製品を生産し、木質バイオマスエネルギーの安定供給を図る。また、森林組合として全国初となるハウス栽培事業にも熱源の利用拡大を図り、さらに、CO<sub>2</sub>削減分を国内クレジットで活用し、多様な環境資源を有する南富良野町をPRするとともに、東日本大震災の復興支援を行う。

[概算事業費 36,761千円、交付金要望額 30,000千円]

- ★低炭素化: ▲313t-CO<sub>2</sub>/年、(▲100%)
- ★コスト: ▲8,024千円/年、(▲43%)
- ★地域経済: 環境エネルギー産業の育成、農工商連携の強化、観光振興・交流の推進、ものづくり・食産業の振興等
- ★連携・協働: 森林組合・町・NPO・企業

### ④愛別町木質バイオマス導入普及事業

(エネルギー100%自給を目指した木質バイオマスボイラーの導入と普及啓発・地域連携による地産地消モデルの構築)  
**[㈱協和温泉&愛別町森林組合&上川町森林組合&愛別町]**

町では将来的にエネルギーの100%自給を念頭に、利用可能量、収集方法、実証試験、事業化計画などの調査・検討を計画しており、本事業は同計画の先導的的事业として、かつ、燃料の安定的供給体制の構築をねらい、町内にとどまらず、周辺地域間連携を行いながら、町内の協和温泉の既存重油ボイラーを、木質バイオマス(チップ)ボイラーに転換する事業を実施する。

[概算事業費 31,450千円、交付金要望額 27,100千円]

- ★低炭素化: ▲271t-CO<sub>2</sub>/年、(▲100%)
- ★コスト: ▲3,380千円/年、(▲48%)
- ★地域経済: 産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決
- ★連携・協働: 企業・森林組合・町

### ⑤オロロンの里はぼろエコ&活性化事業

(商店街の全街路灯のLED化と植栽・美化運動の合同実施及び環境事業と連動したイベント開催による観光交流の拡大)

[羽幌町&羽幌町商工会&羽幌中心街商店振興会&エルロード18商店振興会&羽幌ターミナル通り振興会&大通り商店会&南大通3・4丁目振興会&南大通5丁目振興会&CIはまなす振興会&北海道海鳥センター友の会&羽幌みんなでつくる自然空間協議会]

日本で唯一オロロン鳥(ウミガラス)が生息するマチから、CO2の削減に積極的に寄与するため、商店街の街路灯全てをLED化するとともに、国内で唯一海鳥の保護・調査を実施している北海道海鳥センター等とも連携し、植栽や美化事業を通じて啓発活動や環境教育を推進し、環境配慮型の商店街としてのイメージアップを図るとともに、一体的にPR活動等を行い交流人口の増加を図る。

[概算事業費 5,681千円、交付金要望額 5,300千円]

- ★低炭素化: ▲53t-CO2/年、(▲91%)
- ★コスト: ▲1,909千円/年、(▲87%)
- ★地域経済: 商店街の活性化、観光振興・交流推進
- ★連携・協働: 町・商工会、商店振興会、環境活動団体

### ⑥バイオガス燃料で走るごみ収集車両導入事業

(廃棄物バイオマスのメタンガスを利用したごみ収集車(CNG車)の導入とエコツアーの実施による産業・観光交流の推進)

[榑稚内衛生公社&石塚建設興業(株)&稚内市]

稚内市バイオエネルギーセンターで生ごみ・廃食用油・下水道汚泥等をメタン発酵処理し、発生したバイオガス(メタンガス)をごみ収集車2台の燃料とすることで、CO2削減はもとより、循環型社会の形成にも寄与する。また、既存の大規模風力・太陽光発電施設等を含めたエコツアーの実施等、自然エネルギーの体験情報の発信拠点として整備する。

[概算事業費 36,748千円、交付金要望額 2,400千円]

- ★低炭素化: ▲24t-CO2/年、(▲100%)
- ★コスト: ▲1,131千円/年、(▲100%)
- ★地域経済: 環境エネルギー産業の育成、観光振興・交流推進等
- ★連携・協働: 企業、市

### ⑦中心市街地発!エコで元気なまちづくりプロジェクト

(商店街等の照明の大規模LED化と市民セミナーや環境学習等の普及啓発事業による中心市街地の活性化)

[北見市&北見市商店街振興組合連合会&榑まちづくり北見]

商店街及び「まちきた大通ビル」(中心市街地の核施設)の立体駐車場ビルの照明光源のLED照明化により、誰もが安全・安心で快適に過ごすことができる。魅力ある空間を創出することで来街市民の増加を図る。

また、省エネルギー化により削減したエネルギーコストの一部を、環境学習や賑わい創出事業等に再投資し、まちなかの活性化を図る。

[概算事業費 14,779千円、交付金要望額 10,000千円]

- ★低炭素化: ▲148t-CO2/年、(▲74%)
- ★コスト: ▲5,576千円/年、(▲73%)
- ★地域経済: 商店街の活性化
- ★連携・協働: 市、商店街振興組合、企業

### ⑧CO2ゼロエミッションとかち・夢・真冬のマンゴーづくり大作戦事業

(新エネルギーの複合利用による熱帯フルーツ栽培の普及と農閑期の通年雇用や観光交流の拡大による地域産業の活性化)

[榑ラワークスジャパン&十勝シーニックバイウェイ~トカプテ雄大空間&音更町]

温泉熱・雪氷冷熱と太陽光・バイオ燃料等の新エネルギーを活用した冷暖房設備のビニールハウスを設置し、厳寒の本道におけるマンゴー栽培を行うことにより、農閑期の新たな産業づくりに資する技術や設備・システムの確立と普及を図り、ゼロエミッション型のエネルギーの活用や、マンゴーを素材とした食品・観光商品の開発により、低炭素社会の実現と地域産業の活性化を図る。

[概算事業費 39,420千円、交付金要望額 30,000千円]

- ★低炭素化: ▲397t-CO2/年、(▲100%)
- ★コスト: ▲1,397千円/年、(▲11%)
- ★地域経済: 環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、観光振興・交流推進、ものづくり・食産業の振興、コミュニティビジネス創出等
- ★連携・協働: 企業、観光団体、町

### ⑨エコアグリハウスの創出とクレジットを通じたHPシステムの普及

(植物工場におけるヒートポンプシステム導入と広域連携による販路拡大及び国内クレジットを通じた地域ブランディング化)

[合同会社北海道新エネルギー事業組合&中標津町&中標津農協&(財)釧路根室圏産業技術振興センター&北電総合設計(株)]

冷涼かつ長い日照時間を活かし、複層エアによる高断熱省エネ型のビニールハウスを導入し、ベビーリーフ水耕栽培事業を実施する。また、本事業のCO2削減量とミルクヒートポンプ・クレジットをバンドリングし、国内クレジット制度を通じて首都圏の事業者と連携することにより中標津町農業の価値を高め、他地域での中標津HP(ヒートポンプ)システムの導入・普及への取組を図る。

[概算事業費 62,984千円、交付金要望額 30,000千円]

- ★低炭素化: ▲682t-CO2/年、(▲88%)
- ★コスト: ▲19,168千円/年、(▲88%)
- ★地域経済: 環境エネルギー産業の育成、商店街の活性化、農商工連携の強化、観光振興・交流推進、ものづくり・食産業の振興、コミュニティビジネス創出、建設業の新分野進出等
- ★連携・協働: 企業、町、農協、産業支援機関

概算事業費計 295百万円 / 交付金要望額計 154.7百万円

※概算事業費・交付金額等は補助金交付事務における事業内容の精査等により、今後異動する場合があります。